

相模川堤防整備事業

地域住民への説明会開催

■開催日時：令和5年3月5日(日)10時～11時10分

■出席者：京浜河川事務所:5名、茅ヶ崎市下水道建設課:3名

湘南地区まちぢから協議会役員:4名、地域住民:37名

湘南地区の長年の課題であった相模川河川氾濫対策としての堤防設置に関し、ようやく工事が進められることとなり、先日、地域住民に対し工事の概要について説明会が開催されました。

<概要>

中島地区については、堤防の幅・高さともに不足しており、今回の工事では高さの整備を行うもので、工事は、現在の堤防道路にL型擁壁を設置することになっています。

令和5年4月以降樹木伐採工事を行い、出水期後のR5.11月頃よりL型擁壁設置工事が行なわれます。

工事期間中、道路の通行止めが一時的に発生します。また、樹木の伐採工事に関しては平日昼間に行なわれます。(但し、休日は行なわれません。)

<質疑応答(一部)概要>

質疑内容	回答内容
工期はどれくらいになるか？	少なくとも3年かかると見込んでいる。 工事や予算の状況により長くなる可能性はある。
隣接住民の出入り口はどうなるか？	出入口が暫定堤防整備する道路側にしかない方については、代替駐車場を設けることを考えている。 業者が決まったら個別調整する予定である。
暫定整備が終わったら次はどうなるか？	相模川・中津川河川整備計画に基づき、優先度を勘案しながら次の整備について決めていくこととなるが、L型擁壁整備地に関しては完成堤防整備に向かうこととなる。 整備の順番に関しては、様々な整備の優先度を勘案しながらになるが、並行して進めていくこととなる。
堤防の高さが現況5mから7mとなる。根拠はあるか？	相模川・中津川整備河川整備計画の中でHWL (High Water Level:計画高水位)がTP4～4.8mとなる、その他の高潮高や打ち上げ高などを掲載し算出している。

